

## 山口県における高齢者虐待防止法に基づく通報等の状況（平成27年度）

### 1 養介護施設従事者等による虐待の状況

#### (1) 27年度内に受理した虐待事例の通報（届出）件数

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
件数	15	20	15	7	10

※すべての事例について、市町が受理

#### (2) 27年度内に受理した虐待事例に係る相談・通報者（複数回答） [単位：人]

	本人届出	家族親族	当該施設職員	当該施設元職員	当該施設管理者等	医療従事者	ケアマネ	国保連合会	県	警察	その他	不明	計
27年度	0	4	3	1	5	0	3	0	0	2	2	1	21
割合(%)	0.0	19.0	14.3	4.8	23.8	0.0	14.3	0.0	0.0	9.5	9.5	4.8	100.0
26年度	2	5	6	8	0	0	0	0	0	0	5	0	26
25年度	0	3	12	2		0	1	0	1	0	1	0	20
24年度	0	1	2	0		0	0	0	5	0	1	0	9
23年度	0	3	5	1		0	0	0	1	0	0	0	10

※構成割合は、相談・通報者の合計人数に対するもの

#### (3) 27年度内に実施した事実確認状況 [単位：件]

	行った事例	事実確認調査を行った事例				事実確認調査を行っていない事例	虐待ではないと判断した事例	虐待ではないと判断した事例	調査を予定している又は検討中の事例	県へ調査を依頼	その他	総計
		された	事実が認められた	事実が認められなかった	事実が認められなかった							
27年度	16	4	6	6	1	1	0	0	0	0	17	
割合(%)	94.1	(23.5)	(35.3)	(35.3)	5.9	(5.9)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	100.0	
26年度	16	2	10	4	4	0	1	0	0	3	20	
25年度	15	0	14	1	0	0	0	0	0	0	15	
24年度	9	0	6	3	0	0	0	0	0	0	9	
23年度	10	1	7	2	0	0	0	0	0	0	10	

#### (4) 市町から県への報告状況 [単位：件]

	虐待された事例が認められた事例	事実確認調査を行った事例	県と協働して事実確認を行う必要	市町に調査を依頼	市町で調査を依頼	市町単独で調査
27年度	4	0	0	0	0	0

※(3)(4)は、27年度内に通報受理した事例、及び26年度以前に通報を受理し、事実確認調査が27年度となった事例について集計

## 2 養護者による高齢者虐待についての対応状況

### (1) 27年度内に受理した相談・通報対応件数 [単位：件]

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
件数	230	284	277	289	344

### (2) 27年度内に通報を受理した事例に係る相談・通報者（複数回答） [単位：人]

	ケア マネ ジャー	介護 保険 事業所 職員	医療 機関 従事 者	近隣 住民 知人	民生 委員	被虐 待者 本人	家族 親族	虐待 者自 身	当該 市町 行政 職員	警察	その 他	不明 (匿名 を含 む)	計
27年度	68	10	13	8	9	21	28	2	18	48	15	0	240
割合(%)	28.3	4.2	5.4	3.3	3.8	8.8	11.7	0.8	7.5	20.0	6.3	0	100.0
26年度	101	21	16	8	17	33	34	2	29	41	21	0	323
25年度	77	8	19	7	19	28	48	6	36	50	18	0	316
24年度	96	18	13	11	25	35	33	1	23	38	32	0	325
23年度	129		10	20	31	46	35	8	26	40	23	0	368

### (3) 27年度内に実施した事実確認状況 [単位：件]

	事実 確認 調査 を行 った	立入調査以外の方法				立入調査により調査				行 っ て い な い	要 と 判 断 し た 事 例	は な く 事 実 確 認 調 査 不 要 と 判 断 し た 事 例	段 階 で 明 ら か に 虐 待 で な く 事 実 確 認 調 査 不 要 と 判 断 し た 事 例	相 談 ・ 通 報 を 受 理 し た 事 例	否 を 検 討 中 の 事 例	定 し て い る 又 は 調 査 要 不 要 と 判 断 し た 事 例	後 日 事 実 確 認 調 査 を 予 定 し て い る 又 は 調 査 要 不 要 と 判 断 し た 事 例	相 談 ・ 通 報 を 受 理 し 、 予 定 し て い る 又 は 調 査 要 不 要 と 判 断 し た 事 例	計
		た 事 例	訪 問 調 査 を 行 っ た 事 例	報 告 集 め の み で 調 査 を 行 っ た 事 例	関 係 者 か ら の 情 報 を 得 た 事 例	事 例	警 察 が 同 行 し た 事 例	警 察 に 援 助 を 要 し た 事 例	警 察 に 援 助 を 要 し な か つ た 事 例										
27年度	229	227	169	58	2	2	0	0	8	4	4	237							
割合(%)	96.6	(95.8)	[71.3]	[24.5]	(0.8)	[0.8]	[0.0]	[0.0]	3.4	(1.7)	(1.7)	100.0							
26年度	273	272	182	90	1	1	0	0	16	14	2	289							
25年度	271	270	193	77	1	1	0	0	9	8	1	280							
24年度	301	300	221	79	1	1	0	未調 査	1	0	1	302							
23年度	337	331	238	93	6	1	5	査	7	5	2	344							

※構成割合は、相談・通報者の合計人数に対するもの

### (4) 事例確認調査の結果 [単位：件]

	虐待を受けた又は受けたと 思われたと判断した事例	虐待ではないと 判断した事例	虐待の判断に至ら なかつた事例	合計
27年度	96	68	65	229
割合(%)	41.9	29.7	28.4	100.0
26年度	114	93	66	273
25年度	137	66	68	271
24年度	158	77	66	301
23年度	164	148	25	337

※(3)(4)は、27年度内に通報受理した事例、及び26年度以前に通報を受理し、事実確認調査が27年度となった事例について集計

(5) 虐待の内容

※27年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

ア 虐待の種別（複数回答） [単位：人]

	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	計
27年度	62	14	44	0	23	143
割合(%)	43.4	9.8	30.8	0	16.1	—
26年度	76	27	62	0	31	196
25年度	94	39	60	0	34	227
24年度	100	43	70	0	53	266
23年度	109	53	72	1	36	271

イ 虐待の深刻度 [単位：人]

	1-生命・身体・生活への影響や本人意志の無視等	2	3-生命・身体・生活に著しい影響	4	5-生命・身体・生活に関する重大な危険	計
27年度	34	24	28	9	3	98
割合(%)	34.7	24.5	28.6	9.2	3.1	100.0

(6) 虐待者・被虐待者の状況

※27年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

ア 被虐待者の性別、年齢 [単位：人]

	性別				年齢					
	男性	女性	不明	計	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	不明	計
27年度	21	77	0	98	9	40	33	16	0	98
割合(%)	21.4	78.6	0.0	100.0	9.2	40.8	33.7	16.3	0.0	100.0
26年度	30	87	0	117	7	50	45	15	0	117
25年度	37	101	0	138	14	49	58	17	0	138
24年度	33	127	1	163	18	66	65	13	1	163
23年度	31	139	0	170	16	64	68	21	1	170

イ 被虐待者の介護保険の申請状況 [単位：人]

	未申請	申請中	認定済	認定非該当(自立)	不明	計
27年度	32	5	59	2	0	98
割合(%)	32.7	5.1	60.2	2.0	0.0	100.0

ウ 要介護状態の被虐待者における要介護状態区分 [単位：人]

	要支援		要介護					不明	計
	1	2	1	2	3	4	5		
27年度	6	7	16	11	8	7	4	0	59
割合(%)	10.2	11.9	27.1	18.6	13.6	11.9	6.8	0.0	100.0

エ 要介護状態の被虐待者における認知症日常生活自立度※ [単位：人]

	自立又は 認知症なし	自立 度Ⅰ	自立 度Ⅱ	自立 度Ⅲ	自立 度Ⅳ	自立 度Ⅴ	自立 度Ⅵ	認知症の 有無が不明	計
27年度	6	12	23	15	1	0	2	0	59
割合(%)	10.2	20.3	39.0	25.4	1.7	0.0	3.4	0.0	100.0

※ 認知症日常生活自立度の指標値

ランク	判定の基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
II	日常生活に支障を来す様な症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
III	日常生活に支障を来す様な症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を要する
IV	日常生活に支障を来す様な症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を要する
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を要する

オ 要介護状態の被虐待者における障害高齢者の日常生活自立度※ [単位：人]

	自立	J	A	B	C	不明	計
27年度	3	16	21	14	4	1	59
割合(%)	5.1	27.1	35.6	23.7	6.8	1.7	100.0

※ 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）の指標値

ランク	判定の基準
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
B	屋内生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ
C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する

カ 介護保険サービスの利用状況 [単位：人]

	介護サービス を受けている	過去受けていたが判断 時点では受けていない	過去も含めて 受けていない	不明	計
27年度	43	3	13	0	59
割合(%)	72.9	5.1	22.0	0.0	100.0

キ 虐待者との同居の有無 [単位：人]

	虐待者との のみ同居	虐待者及び 他家族と同居	虐待者 と別居	その他	不明	計
27年度	62	24	11	1	0	98
割合(%)	63.3	24.5	11.2	1.0	0.0	100.0

ク 被虐待者の家族形態（世帯構成） [単位：人]

	単独 世帯	夫婦の み世帯	未婚の子 と同居	配偶者と離・死 別した子と同居	子夫婦 と同居	その他	不明	計
27年度	7	29	31	12	10	9	0	98
割合(%)	7.1	29.6	31.6	12.2	10.2	9.2	0.0	100.0

※『未婚の子』は配偶者がいたことがない子を指す

ケ 被虐待者から見た虐待者の続柄（延べ人数） [単位：人]

	夫	妻	息子	娘	嫁	婿	兄弟姉妹	孫	その他	不明	計
27年度	27	6	46	12	5	2	0	5	0	0	103
割合(%)	26.2	5.8	44.7	11.7	4.9	1.9	0.0	4.9	0.0	0.0	100.0
26年度	28	8	52	20	4	2	3	4	6	0	127
25年度	41	9	58	15	3	1	3	8	12	0	150
24年度	36	6	81	24	17	3	0	8	7	0	182
23年度	35	7	76	22	14	3	5	5	7	0	174

※虐待者の人数は、被虐待者ごとにカウントしたため延べ数

コ 虐待者の年齢（延べ人数） [単位：人]

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	不明	計
27年度	0	3	6	12	23	20	16	14	2	7	103
割合(%)	0.0	2.9	5.8	11.7	22.3	19.4	15.5	13.6	1.9	6.8	100.0

※虐待者の人数は、被虐待者ごとにカウントしたため延べ数

(7) 虐待事例への対応状況

ア 市町における虐待事例への対応状況 [単位：人]

	被虐待者からの分離を行った事例	対応内容					被虐待者と虐待者を分離していない事例	対応内容(複数回答)							計	現在の事例	現在対応について検討・調離状態の事例含む	その他(判断時点で既に分離)	計
		介護保険サービスの利用	老人福祉法に基づく措置	緊急一時保護	医療機関への一時入院	その他		経過観察(見守り)	助言・指導	介護負担軽減事業に参加	新たにサービスを利用	ケアプランを見直し	介護以外のサービス利用	その他					
27年度	44	11	10	6	6	11	49	22	20	1	6	10	1	5	65	2	31	126	
割合(%)	34.9	/	/	/	/	/	38.9	/	/	/	/	/	/	/	/	1.6	24.6	100.0	
26年度	61	18	10	12	13	8	66	12	40	5	7	25	4	6	99	2	22	151	
25年度	77	22	14	5	22	14	85	21	44	6	7	26	3	11	118	8	7	177	
24年度	91	30	8	12	23	18	89	18	47	4	5	21	7	17	119	3	12	195	
23年度	90	31	17	5	22	16	67	16	35	5	14	27	12	13	122	0	9	166	

※平成26年度以前の虐待判断事例のうち平成27年度に入って対応を行ったものを含むため、合計人数は平成27年度の虐待判断事例における被虐待者98人と一致しない。

イ 日常生活自立支援事業及び成年後見制度の利用状況 [単位：人]

	日常生活自立支援事業利用開始	成年後見制度利用開始		成年後見制度市町長申立	
		済	手続中	あり	なし
27年度	6	7	1	7	1

ウ 27年度末日での状況 [単位：人]

	対応継続	一定の対応終了経過観察継続	終結	計
27年度	30	45	51	126
割合(%)	23.8	35.7	40.5	100.0